

株式会社ブロックバリュー概要 AIサーバー事業

株式会社ブロックバリュー 概要



社名 株式会社ブロックバリュー
Blockvalue Inc.
代表者 代表取締役 大西 基文
本社 東京都港区虎ノ門
資本金 1億円
HP <https://blockvalue.co.jp>
設立 2022年8月31日

AIサーバー（テラフロップス）の製造販売事業を行う、
国内では希少な日本メーカーです。

- 日本製にこだわる
- 日本企業の活躍を強力に後押しし、裾野を広げる
- 地方の活性化を後押しする
- 「中小企業等経営強化法」に基づく、「中小企業強化税制」の適用機種。初年度で100%即時償却可能。



「ベストベンチャー100」とは、これから成長が期待されるベンチャー企業100社限定のサイトで、ベンチャー通信を運営するイシン株式会社が提供する法人向け有料会員制サービスになります。イシン株式会社にエントリーした企業の中から、イシン株式会社が厳正な審査のもと選出したベンチャー企業100社が「ベストベンチャー100」として紹介されます。サービス概要や審査内容については下記をご参照ください。 <https://best100.v-tsushin.jp/>

石川県志賀町第一データセンター 概要

石川県志賀町第一データセンターは日立製作所工場を購入し、AIサーバー製造工場兼AIデータセンターとして稼働しております。

工場概要

所在地：石川県羽咋郡志賀町若葉台 40 番

敷地面積：24,468 m²

特徴

能登中核工業団地内の敷地内にあり、工業団地前のバス停にもなっております。

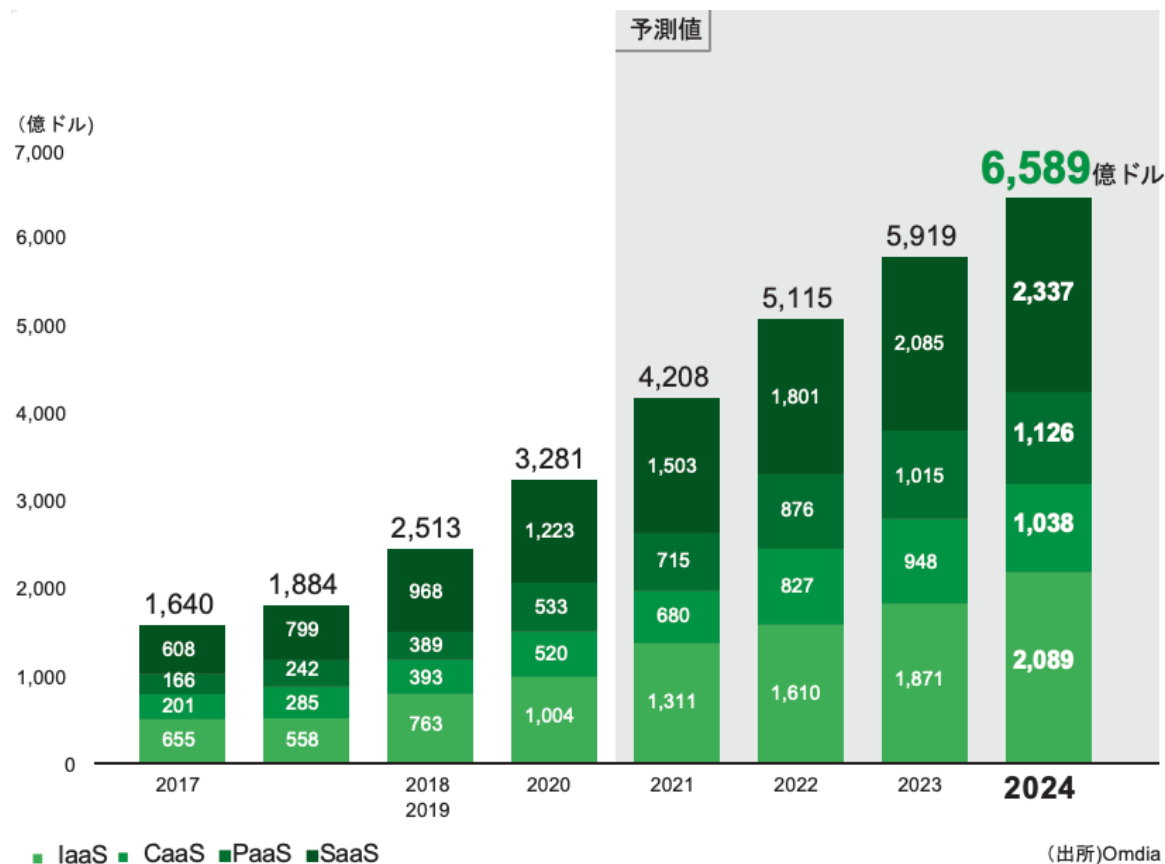


風通しの良い土地柄に加え、廃熱効率に優れた方式を取り入れ空調電力を削減し、脱炭素を推進

売上の一部を下記の支援サービスを通じて石川県志賀町に寄付（企業版ふるさと納税）

Blockvalue Proprietary

クラウドコンピューティング市場トレンド



世界のパブリッククラウドサービス市場は、2019年の2,500億ドル（36兆円）から、2024年までCAGR21%の成長を続け、2024年には6,600億ドル（100兆円）近くまで成長すると予測されています。

日本国内市場も、2019年の1.4兆円から、2024年には2.8兆円まで倍増すると予測されていますが、世界の中では僅かです。

GPUの活用事例



画像認識



音声認識



自然言語処理



検索エンジン



レコメンデーション



医療



セキュリティ



金融



産業オートメーション



自動運転

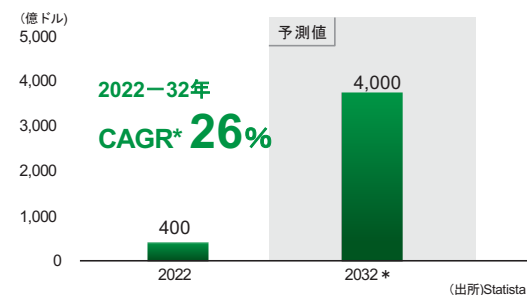
そのほか様々な分野で活用されています。

GPU関連市場の成長予測

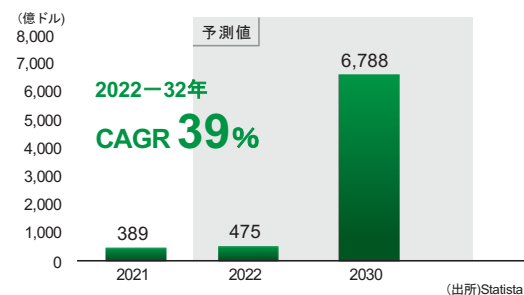


GPU半導体の出荷金額は2022年から32年に約10倍の増加が予測され、AIサーバーの主な用途である、AI・メタバース・フォレンジックといった市場も急成長が見込まれている

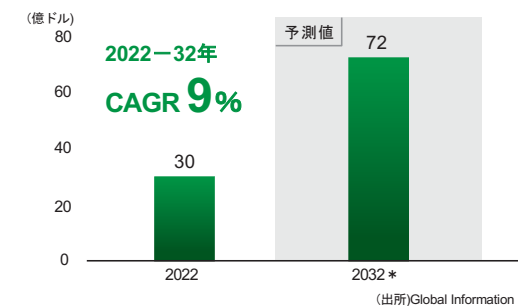
2022－32年GPU半導体市場成長予測



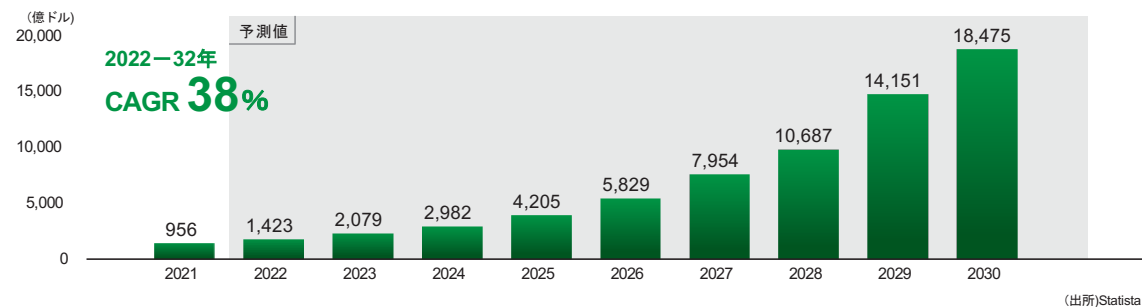
2021－30年世界のメタバース市場規模の推移



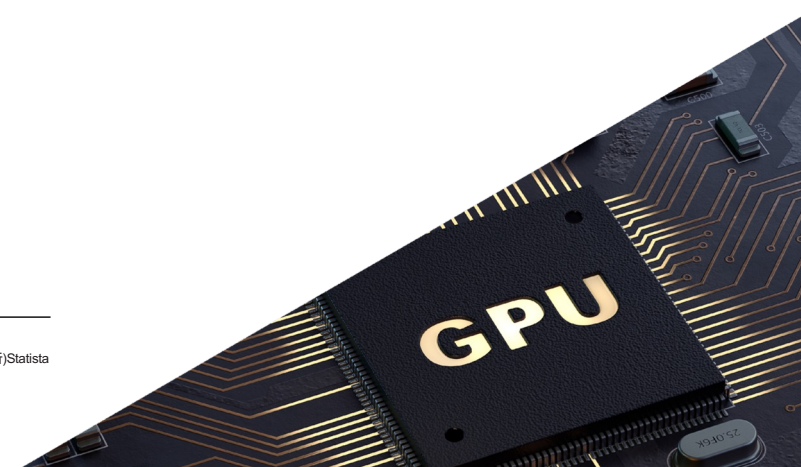
2022－32年世界のネットワークフォレンジック市場予測



2021－30年世界のAI市場予測



Blockvalue Proprietary





インフラとしての超高速計算能力



インフラは、特に意識しなくても毎日の生活を支えています。
特に日常生活に必要となるインフラは「ライフライン」と呼ばれ、「電気」、「ガス」、「水道」、「通信関係」、「交通関係」の5つが該当します。

昨今あらゆる分野で超高速計算能力が活用されており、最早GPUが提供する超高速計算能力もインフラ化してると言え、今後世界中で益々需要が伸び続けると考えられます。

<着眼点>

- どのようなAIアプリであろうと、XR（拡張現実）であろうと、超高速計算能力なしでは実現不可能。インフラを押さえれば最強。
- 日本は高速計算能力供給の面では、世界からかなり遅れている。
- 日本は地方から元気にならなければいけない。

BlockValue Win Supreme G11

フォレンジック系ソフトウェアなど、独自のソフトウェアを搭載。これによりユニークな差別化ポジションを確立。

中小企業等経営強化法に基づく、
「中小企業強化税制」の適用機種。
初年度で100%即時償却可能。





<https://blockvalue.ai>